

おくみかわはじ
奥三河から始まる

あたら
新しいスポーツイベント

ダモンデトレイルの魅力

のの ふん い き
順位を競うレースなのに、野外フェスのように楽しい雰囲気。
しゆん い き
順位を競うレースなのに、野外フェスのように楽しい雰囲気。
さん か しや え が お
参加者みんな笑顔になれるダモンデトレイルの秘密に迫ります。



©Kikuzo

し せん たの し ゆう 自然のなかで楽しむ自由なレース

2015年から始まったダモンデトレイルは、春と秋の年2回、愛知県民の森を舞台に開催される自然の地形を生かしたレースです。参加者は1周約2.5キロの特設コースを、3時間という決められた時間内に何周できるかを競います。1人での参加はもちろん、4人までのチームでも参加することができ、その場合は、周ごとにより方式でチームメンバーが交代しながら走ります。一般的なマラソンや駅伝のように、「必ず走らなければいけない距離」が無く、参加者個々の体力やペースに合わせて自由に楽しむことができます。3時間をひたすら走り抜くのもいいし、家族で交代しながらのんびり走っても大丈夫。初心者と経験豊かなランナーと一緒に走れるコース設計と、思い思いの楽しみ方ができるルール設定がダモンデトレイル最大の特徴なのです。



©Kikuzo



©Kikuzo



©Kikuzo

「走る」以外にも楽しいイベント

自然に恵まれた奥三河地域は、トレイルレースが盛んで、多くの大会が開催されています。しかし、それらの多くは、ある程度の体力や技術を必要とするレースであり、初心者に参加するにはハードルが高くなっています。その点、ダモンドトレイルは、遊歩道などを利用した平らなコースをメインとし、誰でも走りやすい工夫がされています。そのため、気軽にトレイルに挑戦してみたい人や家族で楽しみたい人など、幅広い層から支持を集め、毎回400~500人ほどがエントリーする人気大会となっています。

会場には常に音楽が流れ、ノリが良く楽しい雰囲気なのなか、スポーツブランドやグルメなど様々な出店が並びます。実際にコースを走る参加者だけでなく、応援に来た家族や友達も飽きることなく一日を過ごせる、フェスを楽しむ雰囲気こそダモンドトレイルの醍醐味なのです。



©Kikuzo



走る以外にも
ワークショップや
グルメなど
楽しみがいっぱい



©Kikuzo



©Kikuzo

interview



主催者インタビュー

一社団法人ダモンド 代表理事
有城 辰徳さん

Q ダモンドトレイルを始めたきっかけは？

地域のスポーツイベントという、運営は都会の会社が行い、地域としては単に場所を貸すだけというパターンが多く、それだと後に残らない。だから、地元の間人が企画し、地域の魅力を発信できるイベントをやりたいという想いで始めました。

Q 今後の展開は？

大会をきっかけにランニングクラブが結成されるなど、人と人が繋がり、新たな活動が生まれています。今後は、例えば会場である「愛知県民の森の自然を守る」といった、新しいステージに進んでいけたら素敵だなと思います。

有城さんからメッセージ

僕は今の仕事を「0」から生み出し「1」にしました。あらかじめ用意された仕事からどれか一つを選ぶのではなく、選択肢を「新たに作る」という方法もあります。将来、自分で作り上げたステージで活躍する皆さんとお会いできる日を楽しみに待っています。



©Kikuzo